

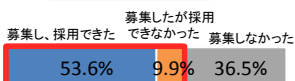
**基本的考え方**

- 急速な技術革新とグローバル化が進展する中、わが国は国際競争に打ち勝つ産業力を将来にわたり維持しなくてはならない。
- 企業からは、実社会への接続性の高い、即戦力に通じる社会人基礎力のある学生、即応性や多様性に富んだ学生を求める声大きい。
- 国際競争力強化に向けて内外の激しい経済社会環境の変化にも即応できるグローバル人材、地方の再生を担っていく地域中核人材、生産性向上やイノベーションを牽引していく人材、起業家精神に富んだ人材の育成といった視点の強化、大学の機能強化が求められる。
- これまで以上に経済社会に開かれた大学となるべく、経営マインドを發揮し、実社会との積極的融合を図っていく体制整備が必要。

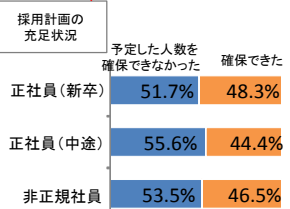
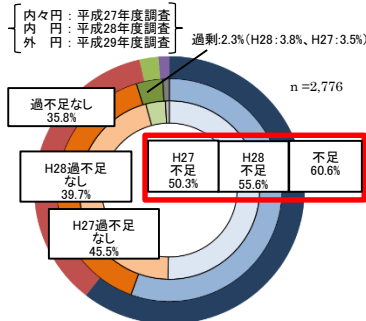
**(1) 6割超の企業で人手不足が深刻化**

■ 社員を募集した企業の5割以上が予定人数を確保できず(①)、6割超の企業が人手不足を訴えている(②)

◆①2016年度の採用実績



◆②人員の充足状況



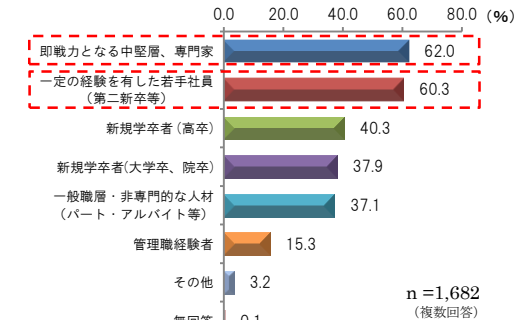
(出所) 2017年4月 日本商工会議所「LOBO調査」

(出所) 2017年7月 日本商工会議所「人手不足等への対応に関する調査」集計結果

**(2) 即戦力人材へのニーズ**

■ 産業界は即戦力となる人材を求めている

◆人手不足問題を抱える中小企業が求める人材



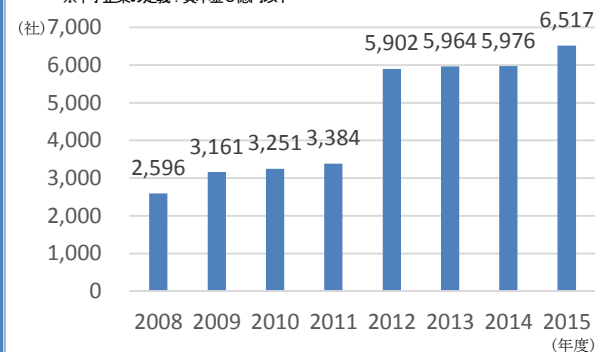
(出所) 2017年7月 日本商工会議所「人手不足等への対応に関する調査」集計結果

**(3) 広がる中小企業のグローバル化**

■ 海外展開する中小企業は毎年増加している

◆中小企業の海外現地法人の推移

※中小企業の定義: 資本金3億円以下



(出所) 経済産業省「海外事業活動基本調査」を基に日本商工会議所が作成

**具体的な意見**

**論点1: 高等教育機関の機能の強化に向け早急に取り組むべき方策**

**【社会人基礎力に結びつくリベラルアーツ教育の強化】**

○知識としての一般教養とリベラルアーツ教育とを明確に区別し、発想力や思考力、論理性、多面的な見方などを育む真のリベラルアーツ教育の推進が必要。

**【卒業要件の厳格化と評価方法の改善】**

○卒業要件の厳格化、知識偏重ではなく、能力としてのラーニング・アウトカムを明確化し、これを重視した評価に比重を移すことが必要。

**【社会人学生の受け入れ、リカレント教育の拡充と体制整備】**

○教育の複線化という社会的要請に応えるべく、夜間大学院の開講拡充など、社会人の受け入れ体制やリカレント教育の充実、そのための実務家教員の活用を拡充すべき。

**論点2: 変化への対応や価値の創造等を実現するための学修の質の向上に向けた制度等の在り方**

**【世界から評価される学修体系の構築】**

- 文系・理系の伝統的区分や学部教育のあり方を見直し、横断的な教育課程を編成するなど、国際的通用性が高く、機動的な学修体系への再構築が必要。
- 教員としての優秀な海外人材の招聘を拡充し、グローバルに知の導入を拡大すべき。
- キャリアデザイン論の必修化や教授レベルの専門家の指導を通じたキャリア指導体制の強化など、キャリア教育に一層の厚みを持たせるべき。
- 秋入学や「ギャップターム」の導入を促進すべき。

**【産学連携の強化を通じた大学のシステム改革と価値の創造】**

- 共同研究等のオープンイノベーションを推進し、大学にとって組織経営としての産学連携のインセンティブが働くようにすべき。
- 大学と企業との間に立つコーディネーターの活用を検討すべき。
- 産学連携の深化度合やアウトカムにも指標を設けて大学評価をすべき。
- 時代の変化に対応した高等教育を実現するためには、大学改革、特に法人経営の意志決定権限や改革のリーダーシップを強化するガバナンス改革が不可欠。

論点3: 今後の高等教育全体の規模も視野に入れた、地域における質の高い高等教育機会の確保の在り方

**【地域創生と多様性を意識した地方大学の機能強化】**

- 地方創生の観点から、都市と地方の大学が連携したカリキュラムと単位の互換や二地域間で学ぶ国内留学(ダブルキャンパス)の仕組みの創設が必要。
- 大学の機能分化をさらにすすめ、各大学の多様性と強みをさらに強化すべき。
- 地域の産業界との連携をさらに強化すべき。